

# 学 校 経 営 方 針

## 1 校訓、教育目標及び努力目標等

- (1) 校 訓 「進取」「自律」
- (2) 教育目標（平成25年度制定）
  - ①進んで学ぶ生徒
  - ②思いやりのある生徒
  - ③たくましく生きる生徒
- (3) 努力目標（平成25年制定）
  - ①目標をもち、ねばり強く学習しよう
  - ②温かくかかわり合い、認め合って生活しよう
  - ③健康でたくましく、生き生きと行動しよう
- (4) 「めざす学校像」（H25年度一部改定）
  - ①生徒と教職員の心のふれあいに満ちている学校
  - ②わかる授業が展開され、生徒が生き生きと学び合う学校
  - ③保護者、地域との絆を深め、地域に根ざした教育を実践する学校
- (5) 「めざす教師像」
  - ①教育に対する熱意と使命感をもつ教師
  - ②生徒のよさを引き出すことができる教師
  - ③楽しくわかる授業ができる教師
  - ④仲間（同僚）と磨きあい高めあえる教師

## 2 経 営 方 針

### 「よさの発見」「自分づくり」「自立」をめざす

生徒一人一人を大切にし、一人一人がもつ可能性を見つけ出し、引き出し、高めていく。それが教師の仕事であり、責任であると考えている。

そのためには、生徒が本来持っている「よさ」に気づかせ、その「よさ」を引き出し、認め、励まし、称賛する等によって、本人の自信を掘り起こしていく。そして、本校の築いてきた長い歴史の中で培った、子ども本来の持つよさ、学校のよさ、地域のよさを再確認し、校内外の活動を通して、他を知り自分を知り、将来に対する夢や目標を心に秘めた、15歳なりの自己表現、15歳なりのアイデンティティーの確立（自分づくり）を目指していく。また、地域に根ざした教育を推進し、自分のふるさとを誇れる生徒に育てたい。

「歴史と伝統のある自然豊かな豊崎中学校で学ぶことに誇りを持ち、

自分の夢や目標に向かって自信をもって生きる生徒を育てる」

## 3 経営の重点

- (1) 教育目標の達成をめざす
  - ・子ども、保護者、地域住民の願いを大切にし、教育目標の達成のために解決すべき学校課題を明確にして全教職員の共通理解を図りながら、組織的・計画的にその具現化に取り組む。
- (2) 教職員の資質の向上をめざす
  - ・生徒の変容なくして研修の成果はない。「生徒を変えるには、教職員自らの変容を」という謙

虚な姿勢で、教職員が切磋琢磨し、協力し合い、和を大切にしながら、各自の持てる力を十分に発揮してほしい。

(3) 学校、地域のよさを生かす

- ・本校はすばらしい自然環境に恵まれ、また地域の学校への協力も大なるものがある。地域との良好な人間関係を保ちながら新たな伝統を築きあげていくように努力していく。
- ・特色を大いに生かしながら、継続して取り組んでいる農園活動や子ども一人ひとりに応じた個別指導の徹底、相撲大会への参加等、地域に根ざした特色ある教育活動の充実を図る。

(4) 「命の大切さ」を根底とする

- ・過去の教訓を生かし、安全教育、安全管理の徹底に努め、「命の大切さ」を根底とした教育活動を推進する。
- ・あらゆる教育活動の中で、「命の大切さ」に触れ、自他の命を尊重することができる、優しくたくましい子どもへの成長を促したい。

#### 4 学校課題

(1) 学力の向上

- ①「わかった」「できた」「身についた」が実感できる授業づくり
- ②互いに教え合い学び合える授業の工夫
- ③個に応じたきめ細かな指導方法の工夫
- ④活用場面を通しての思考力・判断力・表現力の育成

(2) 生徒指導の充実

- ①不登校生徒、学校不適応生徒の解消
- ②問題行動の早期発見と早期指導
- ③育てるカウンセリングの実践

(3) 家庭・地域社会との連携及び小学校との連携

- ①地域密着型教育の推進
- ②小・中学校ジョイントスクール事業の推進

(4) キャリア教育の充実

- ①他者を理解し、協力できる生徒の育成
- ②主体的に行動すると同時に、自分をコントロールできる生徒の育成

#### 5 学校課題解決ための施策

(1) わかる授業・学び合いの授業の工夫・改善

- ①授業のユニバーサルデザイン化による学ぶ喜びや成就感を実感できる授業の実践
- ②教え合い学び合う「協同的な学び」を教室に実現する
- ③学習した知識や技能を活用する場面の設定
- ④生徒による授業評価アンケートを実施し、教師が分析して課題に取り組む
- ⑤朝自習の充実（音読朝自習等）、漢字・計算・スペリングコンテストの実施
- ⑤全教員が授業を公開し、お互いに学び合う

(2) 一人ひとりに応じた個別指導の充実

- ①一人ひとりを生かし伸ばすことにより集団の力を高める
- ②生徒と生徒、生徒と教師のよりよい人間関係づくり

- ③定期テスト前や長期の休みを使っての個別指導の実施
- ④子どもの実態にあった学習目標の立て方や実施に対しての教師のアドバイス
- (3) 小・中・家庭と連携した生活習慣・学習習慣の形成
  - ①小・中ジョイントスクール事業を通しての一貫した家庭学習習慣の取り組み
  - ②家庭学習時間の設定 1～3年生 80分
  - ③家庭学習のてびきの作成 (小・中)
  - ④基本的な生活習慣の確立
  - ⑤インターネットトラブルの防止
- (4) よさを生かし、自己存在感を高める学級づくり
  - ①生徒が安心して、生き生きと自分を表現できる学級づくり
  - ②授業や行事等、一人一人が活躍できる場の設定と教師の支援・振り返りの評価の充実
  - ③Q-U検査の実施やSGEの導入による居心地のよい学級づくり
- (5) 生徒理解と教育相談の充実
  - ①生徒理解のための校内研修の実施
  - ②定期的教育相談の実施と、育てるカウンセリングの充実
  - ③スクールカウンセラー、養護教諭との連携
- (6) 農園活動を通して自然とふれあい、生命尊重の心を育む
  - ①一人一畝の畑作りの継続
  - ②地域の人材を生かし、関係づくりに努める
- (7) 言語活動の充実
  - ①言語活動を取り入れた授業の工夫 (書く、話す、発表する)
  - ②学校生活向上に向けた話し合い活動の充実
- (8) 人前で発表する機会の充実
  - ①全校朝会での意見発表や各行事での感想発表、短学括の発表活動の充実
  - ②生徒会活動による学校生活の向上と改善を図る自主的態度を育てる
  - ③コミュニケーションビンゴの実施
- (9) あいさつと歌声の響く学校をめざす
  - ①全校あいさつ運動の充実
  - ②八戸市音楽祭に向けて、合唱タイムの実施
- (10) 校務の効率化
  - ①水曜日をノー残業デーとする
  - ②校務の効率化により生徒と向き合う時間を確保する
  - ③校務ソフトの運用による校務の効率化を図る

## 6 学校目標

### 【自分の考えをもち、学び合うことのできる生徒の育成】

〔重点施策〕

- (1) 授業のユニバーサルデザイン化の推進
  - ①焦点化 (学習内容の精選する)
  - ②視覚化 (抽象的なものや見えないものを「見える化」する)

③動作化（理解を助け、集中力を高める身体的活動を取り入れる）

④共有化（お互いの意見を伝え合うことで考えを深める）

（2）話し合う力の育成

①自分の考えを組み立て伝える力の育成

②相手の考えを取り入れる力の育成

③相手の考えを明確にする質問や指摘する力の育成

④考え方が他と違うことに動じない生徒の育成

⑤多様な視点や方法で考える力の育成

（3）地域社会との連携の充実

①地域に生徒の力を活用する場を求める

②地域の教育力の活用

## ※豊崎中子育て十ヶ条(昭和60年2月本校PTA総会において決議)

- 1 親も子も挨拶かわして明るい家庭
- 2 家族の一員として進んで手伝いする子を育てよう
- 3 学ぶ、働く、遊ぶことにけじめのある態度をつくる
- 4 金の価値と有用な使い方を身につける
- 5 整理整頓は次の行動の準備 子ども部屋から子を育てよう
- 6 服装、頭髪の乱れは心の乱れ きびしい態度でしつけよう
- 7 自他の生命の尊さを教え 飲酒、喫煙、無免許運転は絶対許さない
- 8 子の友達の親も友達 感謝の電話で心をつなごう
- 9 町中あいさつできて 住みよいふるさとづくり
- 10 町のすべての子は自分の子 みんなで明るくかけよう愛の一声